

保健室だより

平成 25 年 1 月発行
大正大学 保健室

今月は、『**未成年者飲酒防止**』について特集します。

未成年者の飲酒は、中高年と比較して、急性アルコール中毒やアルコール依存症等のリスクが高くなり、事件・事故との関連も深いという特徴があります。

● 未成年者がお酒を飲んではいけない理由

1. 脳の神経細胞を破壊します

アルコールを大量に長い年月飲み過ぎると脳が縮んでいきます。特に、脳が未完成な未成年者で起こりやすい為、学校生活への不応、学業不振などに繋がります。

2. 男らしさ、女らしさが妨げられます

性腺が萎縮して、勃起障害、月経不順になる可能性があります。

3. 未成年者はアルコールを分解する酵素の働きが未発達です

過度の飲酒をした場合、急性アルコール中毒になる危険性が大人に比べ高くなります。

4. アルコール依存症になりやすくなります

未成年者は心身が未発達な為、適度な飲酒をするという判断力がなく、自己規制が効きません。未成年から飲酒すると、次第に飲酒量が増え、飲まないとし落ち着かなくなてきます。そして大量のお酒を毎日飲むようになり、アルコール依存症になってしまいます。

5. 将来の可能性を奪ってしまうことがあります

お酒の酔いは他の楽しみ方を学ぶ意欲をなくします。



「STOP! 未成年者飲酒」マーク

出典：公益社団法人アルコール健康医学協会 HP

● 未成年者の飲酒実態

飲酒をしている未成年者の割合は、「健康日本 21」等、未成年者飲酒防止の為の様々な取組みによって減少しています。しかし、2008 年に行われた全国の中学生、高校生を対象にした調査（厚生労働省の研究班）では、中学生、高校生の過半数が「**飲酒経験あり**」とされており、未成年者の飲酒の広がりが問題となっています。特に、「**問題飲酒者層（週 1 回以上の飲酒）が大きく増えていること**」が、若年のアルコール依存症に繋がるとして、将来への危険性が指摘されています。その背景には、大人側の寛容な態度が大きな問題として横たわっています。実際に初めての飲酒経験は、**第 1 位が「冠婚葬祭」、第 2 位が「家族と一緒に」**、この二つで過半数を超えています。このような、ちょっとしたキッカケから未成年者の飲酒が始まっているのです。

● 未成年者の飲酒と健康

未成年者の飲酒と最も関連の深い疾患として、「**急性アルコール中毒**」と、「**アルコール依存症**」があります。急性アルコール中毒は、血中アルコール濃度の上昇によって、運動失調や嘔吐を伴った意識障害が起こり、身体生命に危険が迫った状態を指します。中には、新入生歓迎コンパ等で先輩にイッキ飲みを強制され、重症の急性アルコール中毒となって死亡するケースもあります。近年は、大学等でも問題とされるようになり、「**イッキ飲み防止**」の取組みが広く行なわれるようになってきました。

● 未成年者飲酒禁止法

1922 年に制定され、**未成年者（満 20 歳未満）の飲酒禁止**などを規定した日本の法律です。日本では、「**未成年者飲酒禁止法**」によって 20 歳未満の飲酒が禁じられています。同時に、「**親権者には未成年者の飲酒を抑止する義務と責任がある**」としています。また、酒類を扱う業者は、未成年者が飲むと知っていて、未成年者に酒類を売ったり、与えたりした場合、罰せられます。更に酒税法の規定により、酒類の販売免許が取消されることもあります。

● 未成年者飲酒による事件・事故

未成年者飲酒による事故の代表的なケースに、「**急性アルコール中毒**」があります。東京消防庁による平成 23 年の調査で、救急車搬送者数は年代別に、**男女共に 20 歳代の若者が多い**ことが分かっています。その理由として、「① **脳がお酒に慣れていない**、② **自分の適量が分からず無謀な飲酒をしてしまう**」等があります。その他、コンパや卒業式等での「酒盛り」や、泥酔しての転落事故、飲酒運転、飲酒後の暴行事件なども毎年数多く報告されています。

● 未成年者飲酒防止対策

世界保健機関（WHO）では、若者の飲酒に強い懸念を示しており、その対策として飲酒禁止年齢に関する提言がされています。日本でも「**健康日本 21**」の中で、**未成年者飲酒をゼロにすることが目標**として掲げられているように、未成年者飲酒防止は、「**飲酒問題対策**」の大きな柱となっています。ビール会社 5 社で構成するビール酒造組合では、「**STOP! 未成年者飲酒 プロジェクト**」を立ち上げ、未成年者の飲酒を防止する運動を展開しています。詳細は次の HP をご覧ください。

<http://www.kirin.co.jp/csr/arp/underage/external/external01.html>

出典：厚生労働省 HP / e-ヘルスネット「若者の飲酒と健康」より / KIRIN_CSR・環境活動より